

A. 日 時 2014年10月28日(火曜日)17時30分~19時30分

B. 場 所 本会会議室

C. 出席者 松本他 計9名

D. 提出資料 (提出委員名も記入して下さい)

No. 04-01 : 「第3回 性能評価法検討WG 議事録(案)」

No. 04-02 : 「水平振動対象文献・資料について(文献数・内容の概略の把握)」

No. 04-03 : 「性能評価法検討WG 資料」

No. 04-04-1 : 「継続時間を考慮した鉛直振動の設計例」

No. 04-04-2 : 「木造大スパン床での検討」

E. 審議事項

1. 議事録確認

資料 No. 04-01 「第3回 性能評価法検討WG 議事録(案)」について報告

- 2頁14行: ×同様、○動揺
- 3頁16行: 「(1Hzを超える)」を削除
- 上記訂正の後、承認された

2. 議論

A) 資料 No. 04-02 「水平振動対象文献・資料について(文献数・内容の概略の把握)」について報告

※ 水平振動を対象にした既往研究について

- 日本女子大石川研究室の研究にて得られた知見(データ)にその他の研究結果を重ねあわせた
- 近年行われている研究は非常に数が少ない
- 不安感・支障感などの知覚以外の研究や少し古い研究も視野に入れ情報の集積に努める

B) 資料 No. 04-03 「性能評価法検討WG 資料」について報告

※ 時間の影響について

- 人体の振動感覚は継続時間の影響を受けることが考えられる
- 加速度の4乗×継続時間が一定であれば(加速度×時間の1/4乗でも)、知覚度合いや心理量が一定であることが既往研究の多くに示されている
- ただし、継続時間が長い振動では、時間影響は少なくなる(1/12乗や1/16乗など)傾向あり

---

※ 振動レベルについて

- 振動知覚に関しては振動レベルによる評価が相応しい
- 振動評価の際の適切な時定数や積分時間は、振動数に依存する

---

C) No. 04-04-1「継続時間を考慮した鉛直振動の設計例」、No. 04-04-2「木造大スパン床での検討」について報告

※ S造床の歩行振動解析

- 梁のメンバーの差異による固有周期変化等に着目し、床振動を評価
- 時間影響を加味した場合の評価値の変化を示す

※ 木造大スパン床の歩行振動解析

- 梁のメンバー・床重量の差異による固有周期変化等に着目し、床振動を評価
- 時間影響を加味した場合の評価値の変化を示す

---

3. 次回以降の課題

- ※ これまでにまとめた既往研究について、対象とする振動種別を「鉛直」「水平」に分類し、系列建ててまとめる
- ※ 低層建築物や交通水平振動に関する情報の集積にも努める

---

次回の当委員会は、2015年2月13日(金曜日)17時30分より本会会議室で開催します。

資料を提出される方は、あらかじめ準備(9部)されるか、もしくは2日前までに本小委員会のオンラインストレージまでアップロードお願いいたします。